



焼干し作り 最盛期

CONTENTS

- ・むらの家計簿
- ・第4回福祉と健康まつり
- ・第7回県青年の船
- ・カメラアイ
- ・川柳北緯。41
- ・保健コーナー
- ・福祉サーブス紹介⑤
- ・お知らせ情報局
- ・行事予定
- ・みつけた
- ・戸籍の窓口

広報

よもぎた



1997 No.268

むらの家計簿



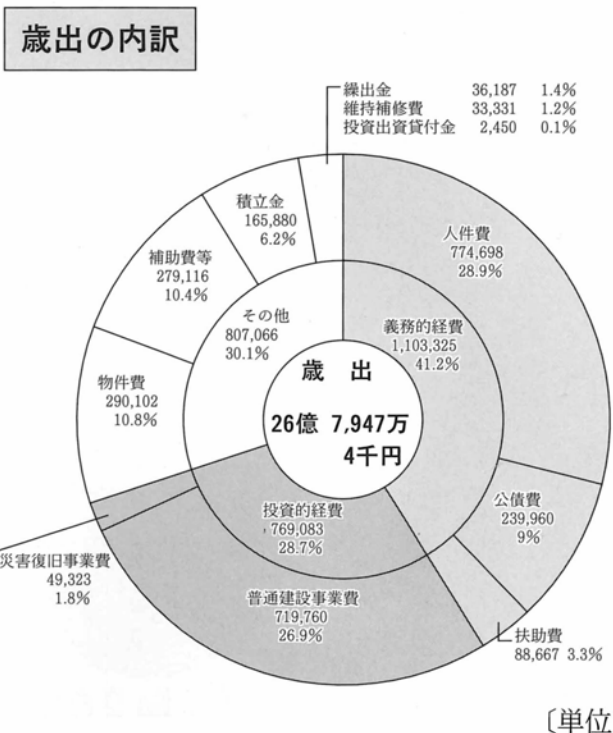
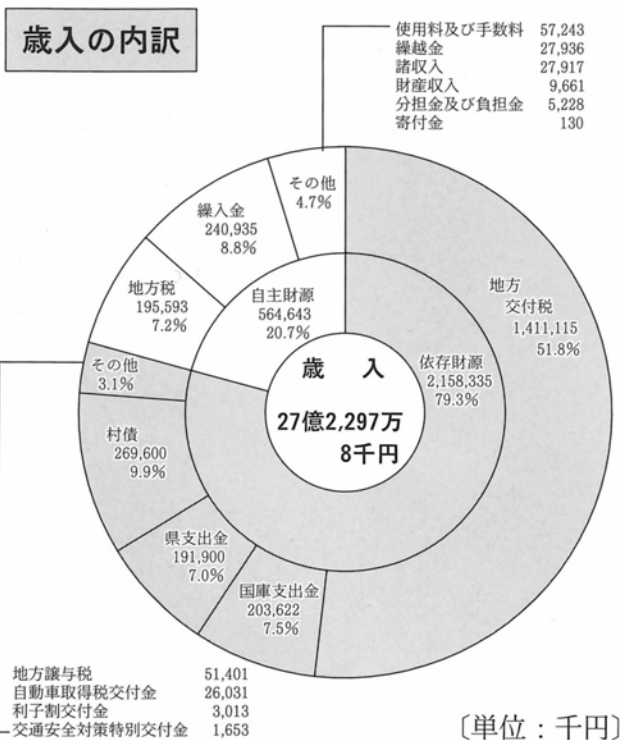
平成8年度決算
普通会計

26億7,947万円の使いみち

平成8年度 決算報告

平成8年度決算は、九月定例村議会に提出され、九月十一日認定されました。普通会計（一般会計と学校給食センター特別会計）において前年度決算と比較すると、歳入で一・五%減、歳出で一・〇%減となっています。これは、歳入においては

村の一般財源である地方交付税、村税及び繰入金が減となったものであり、歳出では村債の繰上償還の減によるものです。皆さんが納めた村税や地方交付税、国・県支出金などが、どのくらい入り、どのような形で支出されているかをまとめてみました。※自治省調査資料に基づき作成していますので、実際の予算科目とは相違しています。



村民ひとり当り

- ▼納めた村税は、52,312円
(・固定資産税 27,257円・村民税 18,054円)
 - ▼使われた村のお金は、716,628円
(・総務費 115,339円・教育費 99,114円
・農林水産業費110,317円・土木費108,607円)
- ※項目は主なもの
人口3,739人で算出(平成9年3月31日現在)



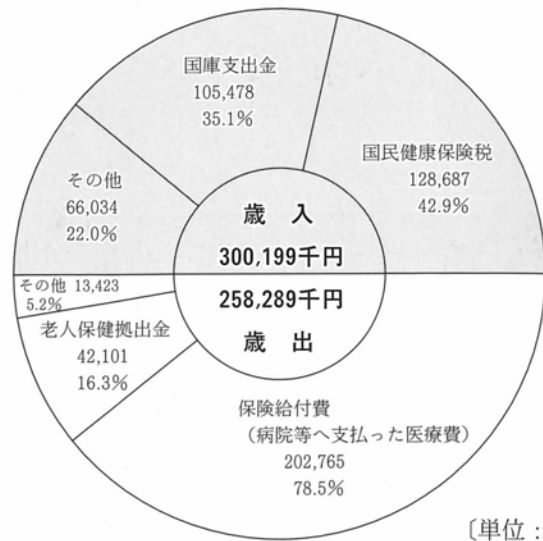
主にこのように使いました

(単位：千円)

項目	金額	割合
議会費 〔79,009〕	3,000	3.0%
総務費 〔431,252〕	431,252	16.1%
民生費 〔367,354〕	367,354	13.7%
衛生費 〔222,958〕	222,958	8.3%
労働費 〔708〕	708	0.0%
農林水産業費 〔412,474〕	412,474	15.4%
商工費 〔12,803〕	12,803	0.5%
土木費 〔406,080〕	406,080	15.2%
消防費 〔86,967〕	86,967	3.2%
教育費 〔370,586〕	370,586	13.8%
災害復旧費 〔49,323〕	49,323	1.8%
公債費 〔239,960〕	239,960	9.0%

▶特別会計決算◀

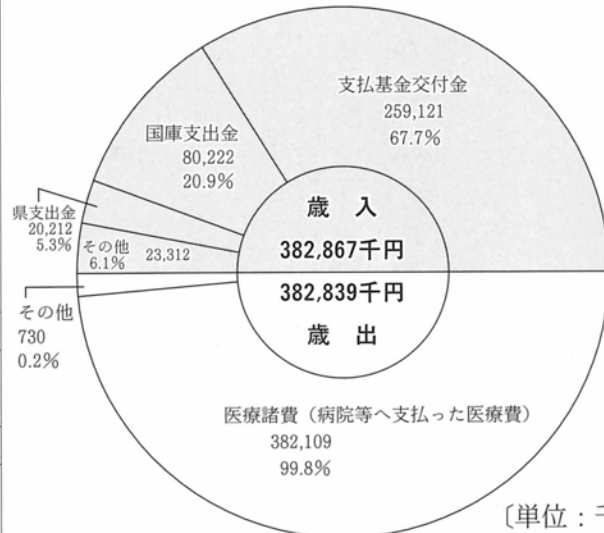
国民健康保険



(単位：千円)

	加入者から いただいた 国保税	加入者へ 支払った 医療費	平成9年 3月31日現在
一世帯当り	206,892円	325,989円	加入世帯 622世帯
一人当り	79,046円	124,548円	加入者 1,628人

老人保健



(単位：千円)

	医療受給者 に支払った 医療費	平成9年 3月31日現在
一人当り	661,088円	加入者 578人

ふれあう福祉・めざせ健康

第4回 福祉と健康まつり



十月十九日、農業者トレーニングセンターで「ふれあう福祉・めざせ健康」をスローガンに第四回福祉と健康まつりが開催され、大勢の人でにぎわいました。

会場には、ホームヘルパーの活動紹介や介護機器の展示、機能訓練教室の作品展示、歯科保健、健康相談な

ど十六のコーナーが設けられ、訪れた人たちは、血圧や骨密度を測定したり、食事や生活のアドバイスを受けたりしました。

また、今年で「一回目」となったヘルシー料理コンテストには、各地区の食生活改善グループや一般の人から二十六点の応募があり、ホタ

テナめこ、カボチャなどを活用した料理が出品されました。

カロリーや塩分が控え目に工夫された料理に、訪れた人は、試食をして味見していました。

また、元青森保健所健康増進課長の斎藤幸子さんが「ストレス社会を楽しく過ごそう」と題して講演し、「やわらかいゆとりのある

心で相手を思いやり、何ごともプラス思考を心掛け、病める人も健康者も楽しく生きる村づくりに努めましょう」と心と体の健康につながるお話がありました。

料理コンテストの上位入賞者は次のとおりです。

▼大賞 中沢地区
保健協力員

- ・ほまれもち
- ・豆腐のそぼろ丼
- ▼二位 坂本 睦子(中沢)
- ・りんごケーキ
- ・大根煮なます
- ▼三位 二唐美代子(蓬田)
- ・ホタテマリネ
- ・ホタテひもとわらびの和え物

(敬省略)



大賞作品 豆腐のそぼろ丼



感動の体験

越田ルミ子さん (瀬辺地)

が繰り広げられわが三組が大逆転のすえ優勝しました。こうした私たちを乗せた船は六日午前、中国の天津港に入港しました。

あちこちで別れを惜しむ人の輪ができ、とても感動的でした。

十二日間、船での研修を重ねながら韓国・中国を訪問した青森県青年の船も家族や友人の待つ青森港に接岸し帰港式で私たちの代表が「今回の研修はかけがえない青春の一ページとなり、この貴重な体験を生かし、今後の人生を切り開いていきたい」とお礼を述べ、再会を誓って解散しました。

私は将来、介護福祉士の資格をいかしてお年寄りに関わる仕事をしたいと思っておりますが、今は少しわがままをして若い時でなければできない、いろいろな事を体験したいと思っております。この研修では、ついこの間まで会ったことも聞いたこともない地域の方々とも知り合い、多くの仲間を得ることができました。大陸では異国の文化に接し、沢山の事柄を学ばせていただき、大変ありがとうございました。

このたび、機会をいただき「第七回青森県青年の船」に乗り念願の韓国・中国を訪問することができました。古くからわが国と最も関係の深い国と認識していたことから一度は行って見たいと思っただけに実現できて大変うれしく、感激いっぱいでした。以下、今回の研修のごく一部ですが報告いたします。

九月一日、午後三時半、雨が上がり青く澄んだ青森の堤ふ頭から六十七市町村から参加した三百五十四人

の団員を乗せた「ふじ丸」は見送りの方々の歓声を受けながら出港しました。いよいよ十二日間の研修の始まりです。しばらくすると不覚にも船酔いして注射を受ける事態となってしまいました。それでも次の日は元気に洋上研修に参加することができました。「旅・感動・個性」をテーマにした講義。船長から海についてのお話し。ますます期待でいっぱいになりました。

三日目の朝、最初の訪問地の韓国・釜山港に上陸し

特急セマウル号でソウル駅に移動し国立中央博物館等を見学しました。すごい、ハングル文字だらけだ、私は津軽弁を話す外国人なんだ。感無量ってこのこと。夜は日韓友好青年交歓会が開催され韓国の方々と食事をしながら交流をしました。私は韓国語で、「ぜひ蓬田村へおいでください。」と話したつもりでしたが相手は……もう、せっかく勉強したのに。

次の日は展望台から北朝鮮を臨み、戦争による民族分断というこの国の悲しい歴史にふれ、平和の尊さを実感しました。韓国での二

日間の研修を終えた私たちは次の訪問地に向けて再び船内研修を始めました。このころには初対面の者同志もしっかりうちとけて話ができるようになり一層楽しくなってきました。組別対抗で行われた洋上運動会では競技のほか、応援合戦

九日からは地域別のグループに別れて船内研修を再開し各地域の実情や課題について話し、村の活性化に向けて大いに討論しました。楽しかった研修も最後となった十一日夜、船内では「さよならパーティー」が開かれ住所や電話番号を交換する人、記念写真を撮る人、



カメラ



アイ

蓬田中学校国際交流

10月7日、蓬田中学校で、三沢米軍基地内の米国生徒を招き、日本の伝統文化を通して交流を深めました。

来校したのは、エドグレンハイスクール校の40人で、蓬中学生は手踊りと玉松太鼓で出迎えました。

初めは緊張気味の両校生徒たちでしたが、ねぶたビデオ観賞の後、一緒に乱舞するとお互いの表情も柔らかくなり、踊りの輪の中で歓声が上がっていました。

昼食は、PTAの皆さんが作ったホタテ貝焼きや豚汁を、屋外で車座になり、慣れないはしに戸惑いながら味わっていました。

蓬中は本年度、県教育委員会より国際理解教育推進協力校に指定されています。



廃品回収でリサイクル



10月26日、村子ども会育成連絡協議会（坂本勇一会長）では、古新聞や古雑誌、空きビンなどのリサイクルを目的とした回収活動を行いました。

参加した子どもと育成者約200人は、朝8時から各家庭より協力された資源ごみをトラックで回収し、玉松海水浴場駐車場に運びました。

集められた古新聞などは、青森市内の業者に買い取ってもらい、子ども会活動に役立てます。

時おりあられが降る寒い中での作業、大変ご苦労様でした。

火災に備えて

10月26日、高根地区で村消防団（吉田初男団長）の秋季火防演習が実施されました。



演習は「午前8時28分、住宅より火災発生」の想定で行われ、張間市郎団付分団長の指揮のもと、出動した団員130人は、ホース延長、中継から放水へときびきびした動作で消火活動にあたりました。

演習後、ポンプ車で村内をパレード、毎戸にチラシを配布し、火の用心を呼び掛けました。

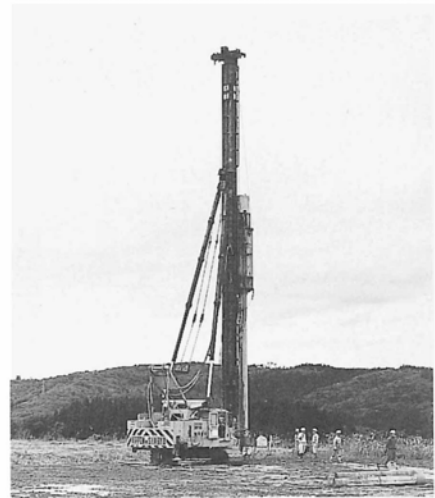
上水道工事始まる

安 全でおいしい水を安定供給するため、上水道工事がスタートしました。

写真は、配水池を建設する基礎工事で、長さ15メートルのコンクリートぐいを地中に埋め込んでいます。

本年度は、平成10年3月の完成を目指し、配水池・管理棟・取水井などの建設、一部配水管を敷設する予定です。

また、12月から北部3自治会で、給水加入申し込みについての説明会を開催する予定です。



牛 野下げ



冬 到来を前に10月31日、村営牧場で牛の野下げが行われました。

牛たちは春からの放牧生活でたくましく成長し、肉牛生産組合（細谷靖信組合長）の人たちも満足した様子で手綱を引きトラックに乗せていました。

里帰りしたのは雌牛30頭で、人工受精による受胎率は74%でした。

仲間たちと別れた牛たちは、これからそれぞれの農家で牛舎暮らしとなり3月頃、出産する予定です。

●核燃の もしもに使う 傘がない
●津軽唄 くるくる廻る 傘の下
●傘かぶり 汗だく カカシ 雀がチュツ
●傘ささず 濡れて袂ぶ 子の遊び

藤 正 千恵子
勝 美 啓子

●子は雨を 母と一緒の 傘が好き
●満天の 星が落ちそう 傘かざす
●照る曇る 耐え抜いて来た 母の傘
●明日の世も きつとあなたの 傘の中

富 栄 蓬 石 絹 正 一

最近すっかり寒くなり白鳥の飛来する光景をちらほら見掛けるようになった。木枯らしの吹く中、寄り添うように飛んで来る姿を見ていると家族の絆を考えてしまう。

つらくても 今日も頑張れリハビリを!!

＝機能訓練教室 4 町村交流会
リハビリンピック・リハビリサミット・イン・ヨモギタ開催＝

リハビリンピック種目 “輪投げ”



8月27日、蓬田村・平館村・鶴田町・藤崎町の4町村で開催している脳卒中後遺症者機能訓練教室の交流会が農業者トレーニングセンターで行われました。村の保健協力員や食生活改善推進員・理学療法士の学生等多くのボランティアに支えられ約一五〇人が参加、盛大な交流会となりました。

まず普段の訓練に役立っているペットボトルボウリング・輪投げ・グラウンドゴルフの3種目でリハビリンピック（ゲーム大会）が始まりました。蓬田村と平館村混合チームは、わずかの

司会は開催地蓬田村担当、スタッフに支えられて進行



点数差で惜しくも二位となり、来年にむけ闘志を燃やしています。

食生活改善推進員による昼食「薄味で具だくさんの豚汁」を試食した後、各町村の教室紹介や体験発表等のリハビリサミットが行われました。参加者の主な意見として具体的に次のような発表がありました。

- ・訓練はつらい時もあるがこれを乗り越え、支えあう仲間づくりを楽しく参加している。
- ・同じ病気をもらった仲間と交流を深め一緒に病氣と闘っていききたい。

各町村から意見発表がありました。



・身体的な障害は百パーセント乗り越える事はできないが、精神的なものは教室に参加することで乗り越えられる。

・進んで社会参加し、明るく元気に生きていこう。

・充実した生活が送れるよう、あせらずにゆっくりと自分のペースで頑張っていこう。

この後、病氣になったことで家の中に閉じこもりになることのないよう、元氣に来年また一緒に会えることを祈り、交流会を終了しました。

じょうぶな歯は 健康のみなもと(3)

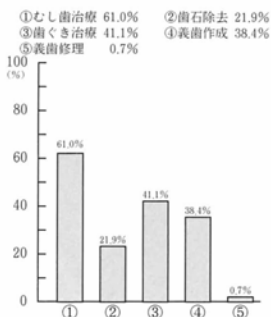
じょうぶな歯で食事ができることは健康の源とされています。今月は、成人老人歯科健診の診察結果について8月号に引き続きお知らせします。

①受診者の約五割の人が何らかの治療を必要としており、内容としては「むし歯の治療」が61%で一番多く、次に「歯ぐきのはれ」41.1%となっていました(図1参照、受診者数三三人中)。

②その他、受診者の二割の人が歯磨きや入れ歯の手入れを必要としていました。

※自分の歯を生涯大切にしていくなめには若い時から歯の健康管理に努める事が重要です。自覚症状が無くても年に一度は歯科健診を受けるようにしましょう。

図1 治療必要な内容



お年寄りのための

福祉サービス紹介 第5回

在宅介護支援センター相談協力員

特別養護老人ホーム蓬生園には、在宅介護支援センターが併設されています。支援センターは、在宅の

寝たきり等の高齢者や、介護する家族を支援していくために、いろいろな心配ご

との相談ののったり、地域で利用できるさまざまなサービスをを紹介する相談窓口です。

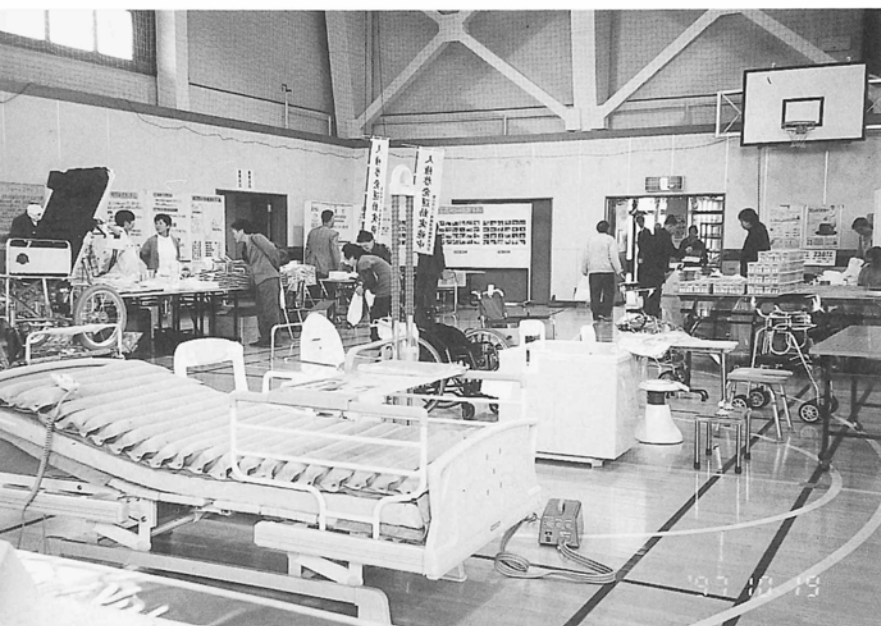
相談のあった高齢者がどんなサービスを必要としているかを家族と一緒に考え

ホームヘルパー派遣やデイサービスの利用など、相談内容に応じたサービスが受けられるようにお手伝いをします。

相談協力員を委嘱

在宅で介護するには、精神的にも身体的にも多くの苦勞を伴います。

介護に困ったり悩んだとき、どこへ行ったら相談にのってもらえるか、どんなサービスがあるのかなどを地域の皆様の身近に紹介するのが「在宅介護支援センター相談協力員」です。平成九年度は相談協力員として二十名を委嘱し、支援センターと地域住民をつなぐパイプ役となっていました。各地区二名いますので、気軽に声をかけてください。



平成9年度福祉と健康まつりで、在宅での介護用品を展示紹介しました。(ベットに乗せているのは、床づれを予防するエアパッドです。)

ミニ情報

蓬田村の高齢化率

平成九年十月現在、蓬田村の人口は三、七六四人です。人口の推移は表のように、昭和四十五年以降減少が続き、二十七年間に約二十二%減少したことになります。

蓬田村の人口の推移

(平成7年までは国勢調査結果)

区分	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年(10月1日)
総人口	4,771	4,371	4,360	4,275	4,052	3,786	3,764
65歳以上	380	442	506	592	668	807	903
蓬田村高齢化率	8.0%	10.1%	11.6%	13.8%	16.5%	21.3%	23.9%
全国高齢化率	7.1%	7.9%	9.1%	10.3%	12.1%	14.5%	
総世帯数	989	973	991	1,011	999	997	1,092
高齢者単身世帯		8	14	28	32	45	69
高齢者夫婦世帯		21	26	33	50	50	68

しかし、六十五歳以上の高齢者が占める割合は逆に増加し、平成九年十月現在、約二十四%となりました。四人に一人が高齢者という時代が目前に迫っています。高齢者の一人暮らしや二人暮らしの世帯も増加傾向で在宅福祉・施設福祉対策の重要なポイントとなっています。

相談協力員名簿

区分	地区	氏名	電話
保健協力員	中沢	坂本隆子	27-2208
		坂本弘子	27-2414
	長科	藤本節子	27-3228
		坂本貞子	27-2131
	阿弥陀川	青木照子	27-2186
		青木ハルヨ	27-3371
	蓬田	宮田キヨ	27-2536
		室谷はるゑ	27-2279
	郷沢	小野弘子	27-2571
		高田芳枝	27-2307
	瀬辺地	木村薫子	27-2770
		山館澄子	27-2337
	広瀬	太田昭子	27-2090
		福浦紀子	27-2629
	高根	稲葉勝代	27-2765
小野寺てつゑ		27-2340	
宮本	村上幸江	27-2238	
	兼平玲子	27-3327	
食生活改善推進員会長	長科	村上江み子	27-2446
日赤奉仕団長	瀬辺地	小野富美子	27-3211

地元企業の 繁栄を支援します

村では、青森県信用保証協会と協調して、事業資金の借り入れを円滑にするため、次の特別保証制度を実施しています。

無担保保証の場合は、保証料率をさらに〇・〇五%引き下げし、負担の軽減を図るとともに、地元企業者の利用しやすい制度として、きめ細やかな対応をいくことになっていきます。

どうぞご利用ください。

項目	内容
特別保証制度	◎簡易小口資金
保証金額	750万円以内
期間	5年以内
貸付利率	年率 5.00%以内
保証料	年率 0.85% (0.80%)

()は、無担保保証の料率。また、無担保、無保証人制度も扱っています。この場合の保証料率は、0.68%と一層引き下げした取り扱いになっています。

【お問い合わせ先】
青森県信用保証協会 保証課

☎ 0177-123-1351

稲作生産者の 皆さんへ

食糧法では、自主流通米と政府米を「計画出荷米」といい、これ以外のおコメで生産者が消費者等へ直接売っておコメは「計画出荷米以外の米」といって、農林水産大臣(食糧事務所)に届け出ることになっています。これは米の全体的な流通量を把握し、需給のバランス・価格の安定を図るため大変重要です。

○届け出る内容

①生産年 平成9年産
②種類 うるち(玄米・精米・粉) もち(玄米・精米・粉)
③数量 60kg(袋) 30kg(袋) または kg
④売渡予定期日 月 旬

住所 _____
氏名 _____ (印)

▼届出先
青森食糧事務所青森支所
☎ 0177-77-3211
☎ 0177-77-3213

▼届出方法
直接、郵送・FAX可
▼届出用紙、お問い合わせ先
青森食糧事務所青森支所
・第1種登録出荷取扱業者、
農林水産課(内線254)

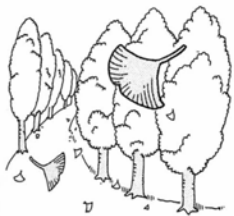
☎ 0177-123-1351

報

局

情

お知らせ



農業用免税軽油の受け付け

青森県税事務所では、平成10年に使用する農業用免税軽油について、申請を受け付けします。

受け付けは、次の日時・場所で行います。

▼平成9年11月25日、26日
午前9時から午後4時

▼青森県税事務所
(青森市長島2-19-1)

▼東京海上ビル5階

なお、申請手続きが受付期間より遅れると、免税証の交付も遅れることになり、受付け期間は必ず守ってください。

新規：新たに申請する人、使用機械に変更のあった人
継続：免税軽油使用者証の有効期限が平成10年12月31日以前の人
更新：免税軽油使用者証の有効期限が平成10年12月30日以前の人
※それぞれ提出書類が違いますので注意してください。

【お問い合わせ先】
県税事務所 間税課
☎ 0177-122-1111
(内線 5406)
蓬田村農業協同組合給油所
☎ 27-212105

申請に必要なもの

提出書類	●印のものが必要です。	申請する人がまえて準備します。														
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
個人	新規	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人	更新	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
共同申請	新規	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
共同申請	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
共同申請	更新	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防除組合等	新規	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防除組合等	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防除組合等	更新	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

出稼ぎと

国民年金

国民年金の加入者は、次の3種類に区分されます。

▼第1号被保険者

農業・漁業・自営業・学生など。

▼第2号被保険者

サラリーマンや公務員など厚生年金保険や共済組合に加入している人。

▼第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者。

農業や漁業をしている人が夫婦で出稼ぎに行き、そこで厚生年金保険に加入すると、2人とも第2号被保険者へ種別が変わります。

また、夫が出稼ぎに行き厚生年金保険に加入し、妻が夫の健康保険の被扶養者に認定されると、夫は第2号被保険者、妻は第3号被保険者となります。

どちらの場合も、夫婦ともに国民年金の種別が変わりますから、役場に届け出が必要です。

出稼ぎ先を退職したときには、夫婦とも元の第1号被保険者になりますので、

その際にも忘れずに届け出をすることが必要です。

将来のための大切な年金を確保するために、届け出を忘れないようにしましょう。

【お問い合わせ先】

蓬田村役場 住民課

☎ (内線) 236)

郵便局からお知らせ

平成10年用お年玉付き年賀はがきを、10月31日より発売しています。

1枚当り、無地50円・絵入り55円です。

村の税金等が、郵便局の通帳から自動的に引き落とし、納められるようになりました。

自動払い込みできるのは
県村民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・国民年金保険料の5種類です。

【お問い合わせ先】

蓬田郵便局

☎ 2712050

テレホンガイド

役 場	27-2111	保 育 所	27-2180
教育委員会	31-3200	幼 稚 園	27-2042
FAX	31-3201	小 学 校	27-2069
中央公民館	27-2076	中 学 校	27-2038
トレセン	27-3010	社会福祉協議会	27-2828
野 球 場	27-3090		27-2077
よもぎ温泉	27-2170		

11 NOVEMBER

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						



七五三
(11月15日)

11月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
2	日	第17回村民祭	ト レ セ ン	9:00	総 務 課
4	火	成分献血	役 場 前	10:00	福 祉 課
5	水	陶芸教室	中 央 公 民 館	9:00	中 央 公 民 館
9	日	村長選挙投票日		7:00 ~18:00	選挙管理委員会
10	月	書道教室	中 央 公 民 館	13:30	中 央 公 民 館
12	水	陶芸教室	”	9:00	”
14	金	ふるさとセミナー	”	18:30	”
16	日	パッチワーク教室	”	10:00	”
17	月	書道教室	”	13:30	”
19	水	陶芸教室	”	9:00	”
26	水	”	”	”	”
”	”	村社会福祉大会	ト レ セ ン	10:00	社会福祉協議会
27	木	3種混合ワクチン	蓬 田 診 療 所	13:00	福 祉 課
28	金	1歳6ヵ月・3歳児健診	中 央 公 民 館	”	”

戸籍の窓



人口と世帯数

(9月30日現在)

総人口	3,764人
男	1,791人
女	1,973人
世帯数	1,091世帯

9月受付分

お誕生おめでとうございます

中川 祐輔	(孝治 長男 めぐみ)
木戸真理奈	(靖夫 長女 由佳子)
加藤 美望	(秋穂 二女 八重子)
磯部 友也	(覚 長男 祐子)
坂本 良菜	(孝和 長女 磨美)

ご結婚おめでとうございます

(福井 徳人 (郷 沢)
吉澤真由美 (青 森 市))

おくやみ申し上げます

藤本日出丸	(長科 49歳)
藤本治郎兵エ	(長科 79歳)

編集後記
 今年はきのこの豊作と聞く。しかし、人工栽培が進み、季節感が無く、色んなきのこが食べられるようになった。四季を感じる食を味わいたい、自然を感じたいと思う今日このごろ。

祝 第77回全国高校ラグビー大会出場!!



10月10日、第77回全国高校ラグビー大会の県大会決勝戦が、青森市の県営陸上競技場で行われました。

この試合に出場した青森北高の坂本昌彦くん(3年、中沢)は、フォワード(ゼッケン1)として活躍し、三本木農業高を31-17で下し、3年連続の優勝を飾りました。

昌彦くんら、青森北フィフティーンは、12月27日から大阪府の花園ラグビー場で行われる全国大会に出場します。

全国大会に向けての抱負を次のように語ってくれました。

「自分たちのラグビーができるよう全力でぶつかり、花園で正月を迎えたい」

全国大会での健闘をお祈りします。



広報7月号(Na.265)で紹介した、武井宏之さん(蓬田)の弟、宏文さんのコミック版が10月6日発売されました。週刊漫画雑誌に掲載されていたもので、タイトルは「大東京忍者伝 かげろうくん」です。また、兄の宏之さんのコミック版「仏ゾーン②」も10月8日に発売されました。現在、お二人とも新作に取り組んでいます。漫画家兄弟に声援を送りましょう。

みつけた

112